

## 長期維持管理技術委員会 2026 年度第 1 回 議事要旨（案）

日時：2026 年 6 月 5 日（金）14:30～17:30

場所：阪神高速道路株式会社 本社 9 階 第 3 会議室

委員：委員長：清野 純史（京都大学 名誉教授）

委員：森川 英典（神戸大学 名誉教授）

杉浦 邦征（京都大学 客員教授）

羽藤 英二（東京大学 教授）

山本 貴士（京都大学 教授）

石川 敏之（関西大学 教授）

議事：

1. 前回議事要旨（案）の確認
2. 長期維持管理技術委員会概要
3. 大規模更新事業（湊町付近）の対応方針
4. 大規模更新事業（法円坂付近）の対応方針
5. 大規模更新事業（京橋付近）の対応方針
6. その他

主な意見等：

議題1. 前回議事要旨（案）の確認

- ・内容を承認する。

議題2. 長期維持管理技術委員会概要

- ・大規模更新修繕事業については、事業化の背景や理由を明確にした上で、事業環境の変化等も踏まえて随時見直していくことを期待する。

議題3. 大規模更新事業（湊町付近）の対応方針

- ・残る鋼製フーチング3基の整備方針（維持管理性を確保しつつ、大規模掘削を行わず基礎内部から整備することにより現橋を最大限活用する方針）については、原案通り了承する。

議題4. 大規模更新事業（法円坂付近）の対応方針

- ・必要な対策を実施して現橋を活用する方針を了承する。
- ・特徴的な構造であるため、懸念箇所については応力状態を継続的にモニタリングすること

も考えられる。

#### 議題5. 大規模更新事業（京橋付近）の対応方針

- ・ウォーターフロント再開発計画を活かし、現橋を活用する方向への方針転換は評価する。神戸市とも連携した景観対策ならびに阪神高速の維持管理性も鑑み総合的に検討・判断されたい。
- ・既存橋梁を活用するにあたり、長期耐久性を確保するための技術的課題への対策を検討すること。
- ・指摘のあった景観への配慮や細かな技術的留意点を踏まえることを前提に、架け替えではなく「埋立て事業を前提とし既存橋梁を活用していく」という方針転換について、本委員会として了承する。

以上